

令和4年12月定例県議会
教育警察常任委員会説明資料

(その他報告事項)

教育委員会

県民総合運動公園のアクセス改善に向けた取り組みについて

令和4年12月定例会
教育警察常任委員会報告資料
交通政策課・観光企画課
都市計画課・体育保健課

<現状・課題>

- 県民総合運動公園は、公共交通による交通アクセス手段が乏しく、自動車によるアクセスが中心。
※空港アクセス鉄道ルート見直しにより三里木ルートで期待されていた運動公園アクセス改善への対応が必要。
※今秋のロアツソホームゲームなど、大規模イベントにおいて運動公園周辺で渋滞が頻発。喫緊の課題として対応策が必要。

※ロアツソホームゲーム入場者数
・10月23日 横浜戦 21,508人
・10月30日 大分戦 13,818人
・11月 6日 山形戦 11,429人

<基本的な考え方>

イベント主催者による対応⇒**県民総合運動公園を設置・管理している県が主体的に対応**

- ※通常利用時にも、大規模イベント時においても、運動公園を円滑に利用できる対応策を提示
- ※県内外から人が集まることは県にとってプラス。渋滞を抑止し、スムーズに集客できる仕組みづくりに取り組む（ピンチをチャンスに）

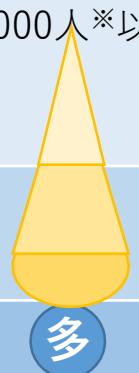
<対応の方向性>

- 運動公園アクセス改善に向け、全庁あげての取り組み体制を構築。
- 運動公園利用者数に応じた対応策をパッケージ化し、関係機関で共有。
- 取り得る対応策から速やかに取り組み、効果を検証しながら、随時対応策をアップグレード。
- 一定規模のイベント時には、主催者や施設管理者などで構成する「主催者等調整会議(仮称)」を設置・開催し、課題・対応策を確認、調整。

<具体的な対応策>

◎ハード面での対応策 ○送迎車両乗降所の設置検討 ○バスベイの改修

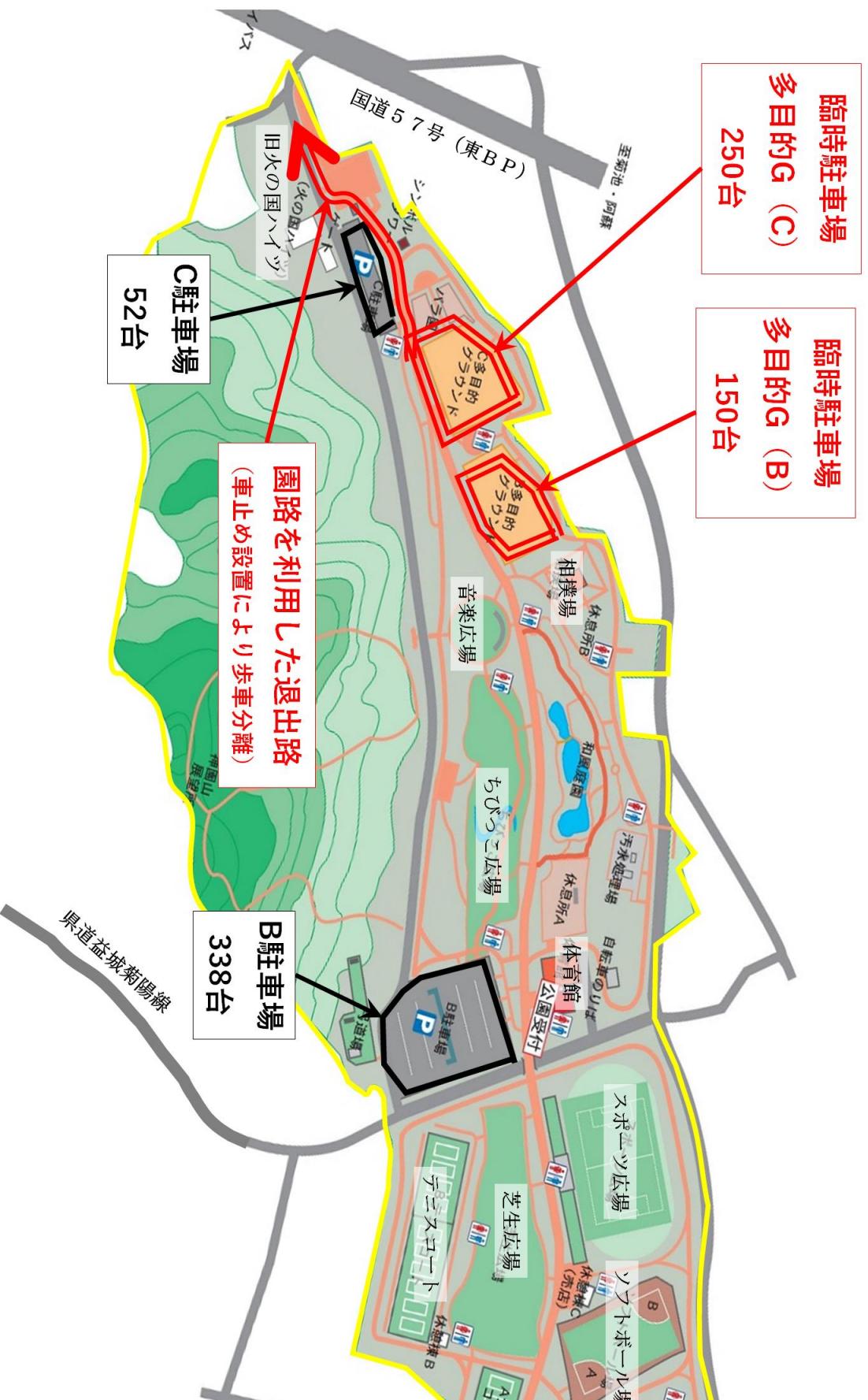
◎利用者数に応じた対応パッケージを設定（※利用者4,000人程度までは常設駐車場(2,000台分)で概ね対応可能。）

運動公園利用者	駐車場対策		シャトルバス・パーク&ライド 【大規模イベント時】	徒歩・自転車等 【大規模イベント時】
4,000人*以上	臨時駐車場の設置 (最大600台分)		シャトルバス運行	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> ※イベント主催者に対するバス借上費用等の補助 ※徒歩・自転車利用のインセンティブ検討 (割引入場券の導入等) </div>
	臨時駐車場の追加設置 (最大550台分)	メイン駐車場 臨時退出ルート設置	シャトルバス拡充 パーク&ライド実施	
	(同上)	(同上)	(上記取り組み拡充)	

◎来春のロアツソ開幕戦などのイベントで実証実験を行い、効果・課題を検証します！

県民運動公園及び周辺のアクセス改善対策について

アクセス対策詳細図



駐車台数集計

種別	駐車場名	駐車台数		凡 例	
常設	メイン駐車場	917台	2,000台	公園区域	退出車による混雑
	パークブーム	545台			
	A駐車場	148台			
	B駐車場	338台			
	C駐車場	52台			
臨時 (現在)	パークブーム調整池	150台	600台	シヤトルバスルート	シヤトルバス方向
	投てき場	250台			
	競技場専用駐車場	50台			
	競技場調整池	150台			
臨時 (追加)	多目的グラウンドA	150台	550台	パーク&ライトバス方向	対応策
	多目的グラウンドB	150台			
	多目的グラウンドC	250台			
		3,150台			

